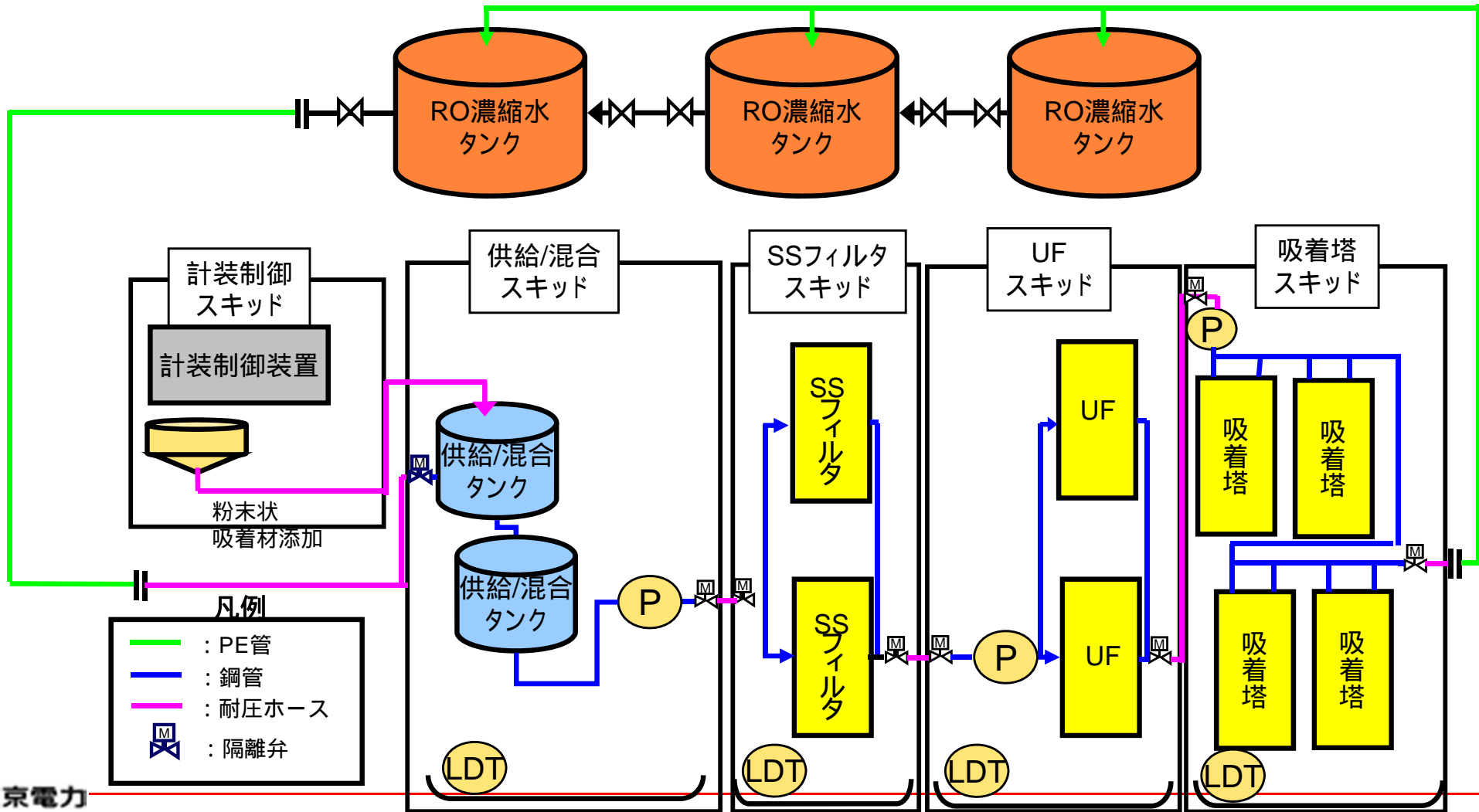


福島第一原子力発電所 モバイル型ストロンチウム除去装置 の運転開始について

■ 装置概要

- 5つのスキッド（計装制御，供給／混合，SSフィルタ，UF（ウルトラフィルタ），吸着塔）で構成，放射性ストロンチウムをフィルタ及び吸着塔で除去。
- 処理容量は，300m³/日。（除去能力（目標）：1/10～1/1000）
- 各スキッド内には漏えい拡大防止パンと漏えい検知器を設置。



■ 設置目的

汚染水処理設備の処理済水を貯留する設備（タンク）のうち、逆浸透膜装置の廃液を貯留するRO濃縮水タンクは、高濃度のストロンチウムを含むため、モバイル型ストロンチウム除去装置によりストロンチウム濃度を低減し、以下のリスクを低減する。

- ・ RO濃縮水の主な核種であるストロンチウム90濃度を低減することで、万一の漏えいに対するリスクを低減
- ・ ストロンチウム濃度低減により敷地境界線量を低減
- ・ パトロール等における作業員被ばくを低減

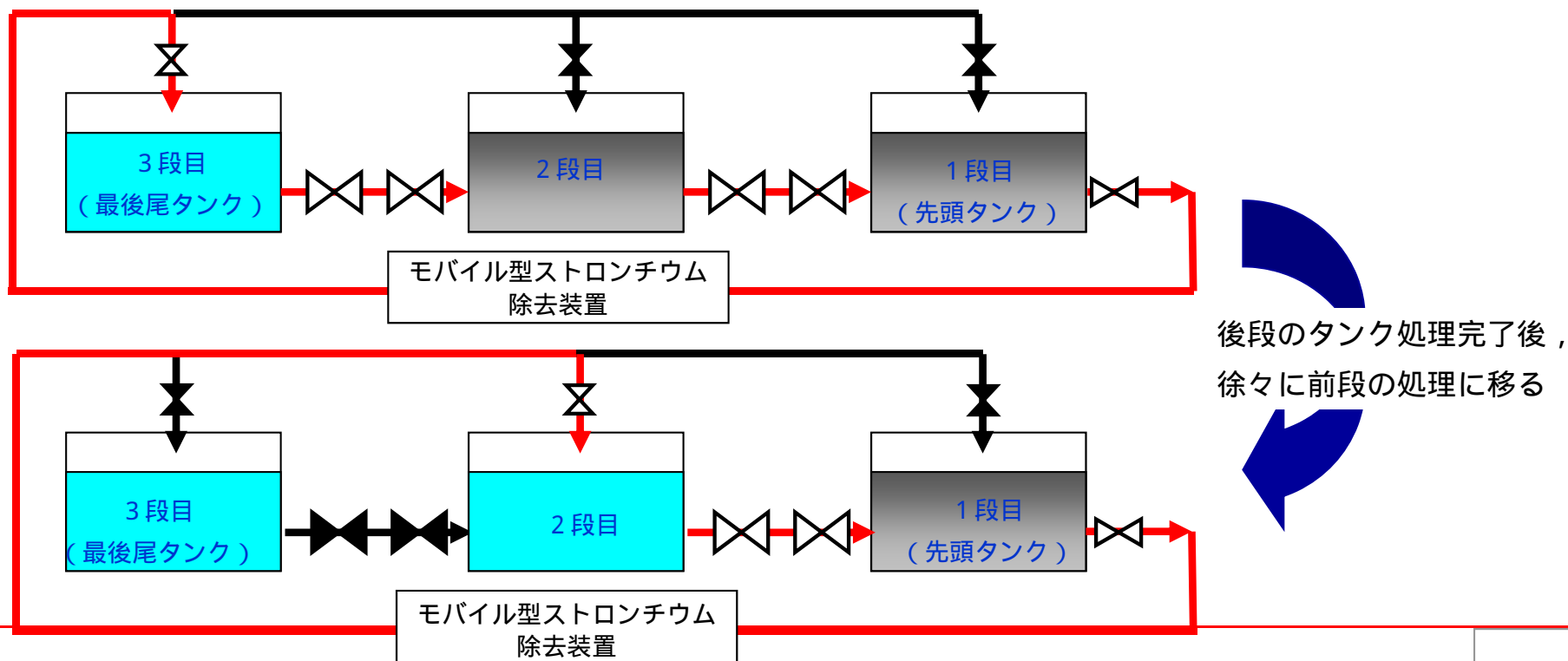
■ 処理対象タンク

本日（10月2日）からG4南エリア（A群 B群 C群）タンクのRO濃縮水の浄化を行い、その後、G6南エリアのタンクのRO濃縮水の浄化を計画（移送ライン布設作業中）。

■ タンクの浄化方法等

- ・ タンク群の先頭のタンクから装置にRO濃縮水を受け入れ、装置で浄化後、処理水を最後段のタンクに移送。
- ・ タンクの濃度が低減した後、タンクを隔離し、1段前段のタンクへ処理水を移送し、先頭タンクまで継続。定期的にサンプリングを実施し、段階的に浄化を進める予定。

< 浄化方法概念図 >



■ 設置状況



< 撮影日：平成26年10月1日 撮影：東京電力株式会社 >